

第4次大阪府文化振興計画に関連する施策・取組

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
A	① 芸術文化魅力育成プロジェクト	若手プロデューサーにチャレンジの場を与え、芸術文化の担い手を育成するとともに、そのプロデューサーが中心となって、大阪にある優れた芸術文化の魅力を発信していくことにより、大阪の文化活動を好循環に転換していくため、府市が共同して行う事業（アーツカウンシルからの提言）	H29	「OsakaCreativeArchipelago」として、10月から2月にかけて、若手プロデューサーの活動拠点（ギャラリー等）を使ったアート作品の制作展示、ライブパフォーマンスなどの「鑑賞プログラム」を5プログラム実施。 また、若手プロデューサーが自由に参加できるトークセッション、助成金相談会などの「育成プログラム」を5プログラム実施。	<ul style="list-style-type: none"> 参加事業者（若手プロデューサー）数：6者 メディア掲載件数：62件 総鑑賞者数：2,623名 	14,000	府民文化部	文化課
			H30	—	—	—		
			R元	—	—	—		
A	① 芸術文化振興補助金	府内の芸術文化団体が行う次世代育成に資する文化活動に補助し、子どもや青少年が優れた芸術文化に親しむことによる心豊かな成長や、大阪の文化を担う人材のすそ野の拡大を図る。（最大100万円まで補助）	H29	文化を通じた次世代育成を主たる目的とする下記の事業等（H30年度実施分）を対象に公募を実施し、アーツカウンシル部会による審査を経て、採択事業を決定。 ①舞台芸術事業（公演事業、ワークショップ等の事業） ②出版等の文化普及事業 ③美術振興事業	<ul style="list-style-type: none"> 応募件数 25件、採択件数 17件 	10,036	府民文化部	文化課
			H30	文化を通じた次世代育成を主たる目的とする下記の事業等（H31年度実施分）を対象に公募を実施し、アーツカウンシル部会による審査を経て、採択事業を決定。 公募時期 平成30年12月～平成31年1月 審査時期 平成31年2月	<ul style="list-style-type: none"> 応募件数 35件、採択件数 16件 	10,036		
			R元	前年度と同様に、文化を通じた次世代育成を主たる目的とする事業等（R2年度実施分）を対象に公募を実施し、アーツカウンシル部会による審査を経て、採択事業を決定。 公募時期 令和元年11月27日～令和2年1月31日 審査時期 令和2年2月～3月	（3月に補助対象事業を内定予定）	10,037		
A	① 府庁本館活用事業	府庁本館を芸術文化活動の場として提供し、文化芸術団体が実施する自主的な事業を促進する。	H29	開庁日の12時15分～13時での実施で、出演団体（者）を募集。	<ul style="list-style-type: none"> 4事業（プロ団体2事業、アマチュア団体2事業）を実施し、297名が参加。 プロの歌劇団が予定する公演のプレイベントとして実施し、歌劇団のPR、公演PRの一助となった。 	116	府民文化部	文化課
			H30	同上	<ul style="list-style-type: none"> 3事業（コンサート、落語）を実施し、219名の参加があった。（出演者は、3団体10名） 	116		
			H31	同上	<ul style="list-style-type: none"> 4事業（コンサート、オペラ、ミュージカル、落語）を実施し、235名の参加があった。 	116		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
A ①	アートを活かした障がい者の就労支援事業	障がいのある方のアーティストとしての自立に向けたチャレンジを支援するため、その作品を「現代アート」として評価し、これをマーケットにつなげていく。	H29	障がいのあるアーティストの活動を支援し、障がいのある人の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、障がい者アートの公募展を開催した。 公募展の開催時期：平成29年11月	応募作品：1739作品(国内) 411作品(国外) 入賞・佳作：105作品	4,763	福祉部	自立支援課
			H30	障がいのある方の美術作品を府民に発信し、障がい者への理解や多様性を認め合う社会をめざして企画展等を実施する。 <スケジュール> 企画展の開催時期：平成31年2月	展示作品数：74点 来場者数：1138名	35,125 (※障がい者芸術・文化促進事業と合わせて)		
			R元	障がいのある方の美術作品を府民に発信し、障がい者への理解や多様性を認め合う社会をめざして企画展等を実施する。 <スケジュール> 企画展の開催時期：令和2年1月31日～2月3日	展示作品数：80点 来場者数：665名	35,452 (※障がい者芸術・文化促進事業と合わせて)		
A ①	障がい者芸術・文化促進事業	障がい者の社会参加を促進し、府民の障がい者への理解を深めるため、国の障がい者芸術・文化の唯一の拠点である国際障がい者交流センター(ビッグ・アイ)を活用して、芸術・文化活動の機会を提供する。	H29	障がいのある人の芸術表現活動の裾野を広げるとともに、舞台芸術の新たな表現や作品を創造することを目的に、「大阪府障がい者舞台芸術オープンカレッジ2017」、「大阪府障がい者芸術・文化コンテスト2017」を開催した。 カレッジの開催時期：平成29年8月～11月 コンテストの開催時期：平成29年11月	出演応募実績 39組、出場者：10組 一般来場者：469名	22,546	福祉部	自立支援課
			H30	前年度と同様、「大阪府障がい者舞台芸術オープンカレッジ2018」、「大阪府障がい者芸術・文化コンテスト2018」を開催する。 <スケジュール> カレッジの開催時期：平成30年8月～11月 コンテストの開催時期：平成30年11月	・カレッジの実績 一般来場者数：363名 ・コンテストの実績 出演応募実績 28組、出場者：9組 一般来場者：520名	35,125 (※アートを活かした障がい者の就労支援事業と合わせて)		
			R元	前年度と同様、「大阪府障がい者舞台芸術オープンカレッジ2019」、「大阪府障がい者芸術・文化コンテスト2019」を開催する。 <スケジュール> カレッジの開催時期：令和元年8月～令和2年1月 コンテストの開催時期：令和元年11月	・カレッジの実績 一般来場者数：493名 ・コンテストの実績 出演応募実績 22組、出場者：11組 一般来場者：571名	35,452 (※アートを活かした障がい者の就労支援事業と合わせて)		
A ②	大阪府アーティスト情報発信事業(バンク)	府内で活動するアーティストの情報を広く府民に紹介することで、地域や学校における府民の自主的な文化活動をサポートする。	H29	大阪府インターネット申請・申し込みシステムにより申し出があった内容に基づき、アーティストバンクに随時登録。	・個人65件(うち平成29年度新規登録数4件) ・団体96件(うち平成29年度新規登録数1件) (年度末の登録件数)	—	府民文化部	文化課
			H30	同上	・個人65件(新規登録3件、削除3件) ・団体96件(新規登録なし)	—		
			R元	同上	・個人67件(新規登録2件) ・団体98件(新規登録2件) ※1月末現在	—		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
A	② 音楽指導事業	中高生を主な対象とする管楽器、打楽器の演奏技術講習会を実施する。	H29	・南地区 10/8 場所：堺市立三国丘中学校 ・北地区 2/11 場所：豊中市立第一中学校	・南地区 参加者：177名 ・北地区 参加者：188名	1,320	府民文化部	文化課
			H30	・南地区 10/7 場所：堺市立三国丘中学校 ・北地区 2/10 場所：豊中市立第一中学校	・南地区 参加者：226名 ・北地区 参加者：142名	880		
			R元	・南地区 10/5 場所：堺市立三国丘中学校 ・北地区 2/9 場所：豊中市立第一中学校	・南地区 参加者：121名 ・北地区 参加者：235名	880		
A	② 音楽体験事業	日本センチュリーが中心となって、子どもが楽器に触れるとともに、オーケストラの中で演奏を聴き、指揮をするなどオーケストラのあらゆる面を体験できるコンサート等を実施する。	H29	楽団の活動拠点であり、「タッチ・ジ・オーケストラ」の開催場所であるセンチュリーオーケストラハウスの維持管理を適宜行い、楽団の活動を支援していく。	・タッチ・ジ・オーケストラ 18公演 参加者：2310名 ・夏休みファミリーコンサート 2公演 参加者1644名 ・支援学校コンサート 6公演 参加者：2539名 ・病院コンサート 5公演 参加者：535名	—	府民文化部	文化課
			H30	楽団の活動拠点であるセンチュリーオーケストラハウスの維持管理を適宜行い、楽団の活動を支援していく。	・タッチ・ジ・オーケストラ 16公演 参加者：1,955名 ・星空ファミリーコンサート 2公演 参加者：1,630名 ・支援学校コンサート 1公演 参加者：423名 ・支援学校アンサンブル 5公演 参加者：905名 ・病院コンサート 5公演 参加者：535名	—		
			R元	同上	・タッチ・ジ・オーケストラ 8公演 参加者：1,200名 ・星空ファミリーコンサート 1公演 参加者：690名 ・支援学校コンサート 1公演 参加者：1,200名 ・支援学校アンサンブル 5公演 参加者：600名 ・病院コンサート 3公演 参加者：300名	—		
A	② 輝け！子どもパフォーマー事業	「メセナ自動販売機」「次世代育成型メセナ自動販売機」からの寄附金を財源として、文化に親しみ、参加、表現する機会を提供する事業のうち、子どもたち自身が参加し発表する事業に対して補助を行い、子どもたちの活発な文化活動を促進する。(最大30万円まで補助)	H29	府内の子どもが参加し、文化活動を発表する事業等(H30年度実施分)を対象に公募を実施し、アーツカウンシル部会による審査を経て、採択事業を決定。	・応募件数26件、採択件数16件	4,800	府民文化部	文化課
			H30	府内の子どもが参加し、文化活動を発表する事業等(H31年度実施分)を対象に公募を実施し、アーツカウンシル部会による審査を経て、採択事業を決定。 公募時期 平成30年12月～平成31年1月 審査時期 平成31年2月	・応募件数30件、採択件数18件	4,800		
			R元	前年度と同様に、府内の子どもが参加し、文化活動を発表する事業等(R2年度実施分)を対象に公募を実施し、アーツカウンシル部会による審査を経て、採択事業を決定。 公募時期 令和元年11月27日～令和2年1月31日 審査時期 令和2年2月～3月	(3月に補助対象事業を内定予定)	4,800		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
A	② フェスパ次世代シアター事業	咲洲庁舎1階フェスパを子どもたちが様々な文化・芸術に親しむ文化活動の場として提供する。	H29	閉庁日の実施で出演団体(者)を募集。	・4月に1事業実施し、726名の参加があった。(出演者:32団体566名)	—	府民文化部	文化課
			H30	同上	・4月に1事業実施し、810名の参加があった。(出演者:30団体485名)	—		
			R元	— (庁舎耐震工事予定)	—	—		
A	② メセナ自動販売機の設置等	広く府民の方から寄附を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つとして、自動販売機の売上げの一定割合を文化振興基金に寄附いただく「メセナ自動販売機」の設置を促進する。また、大阪府文化振興基金への寄附機能の付いた社会貢献型クレジットカード「OSAKAメセナカード」を発行する。	H29	平成29年度末に、咲洲庁舎と府庁別館内の次世代育成型メセナ自動販売機について期間終了となることから、事業者公募を実施。	・4事業者から応募があり、次世代育成型メセナ自動販売機を平成30年度も設置。 ・文化振興基金活用事業(芸術文化振興補助金事業、輝け!子どもパフォーマー事業、芸術文化顕彰事業、プラットフォーム形成支援事業の4事業)を継続。	12,975 (基金設置運営費)	府民文化部	文化課
			H30	メセナ自動販売機設事業等の内容を含んだパンフレットを作成し、飲料メーカー等に事業を周知することで設置台数の増加に努めた。	・メセナ自動販売機の新規設置(1台) ・府立上方演芸資料館内での次世代育成型メセナ自動販売機の新規設置(1台) ・基金パンフレット作成(4,000部)	12,975 (基金設置運営費)		
			R元	引き続き、飲料メーカー等に事業を周知することで設置台数の増加に努める。	・メセナ自動販売機の新規設置(9台) ・次世代育成型メセナ自動販売機の新規設置(2台)	6,183 (基金設置運営費)		
A	② トップアスリート小学校ふれあい事業	府内小学校に、大阪にゆかりのあるプロスポーツチームのトップ選手や指導者等を派遣し、児童との対話や技術紹介等の直接的なふれあいにより、小学生がスポーツのすばらしさや感動を共有できること、また夢や希望を与え、運動・スポーツに親しむ態度や習慣を身につけてもらう。	H29	府内小学校の授業中にトップ選手・指導者等を派遣し、児童との対話や技術紹介等の直接的なふれあいを実施する。	派遣校数:142校 参加者数:11055人 延応募校数:669校 協力チーム数:11チーム	—	府民文化部	スポーツ振興課
			H30	引き続き、府内小学校の授業中にトップ選手・指導者等を派遣し、児童との対話や技術紹介等の直接的なふれあいを実施するとともに、協力チームと種目の拡充及び派遣小学校数の拡大を図り、可能な限り広範囲で実施できるようにする。	派遣校数:137校 参加者数:11685人 延応募校数:801校 協力チーム数:13チーム	—		
			R元	府内小学校等の授業中にトップ選手・指導者等を派遣し、児童等の対話や技術紹介等の直接的なふれあいを実施するとともに、協力チームと種目の拡充及び派遣校数の拡大を図り、可能な限り広範囲で実施できるようにする。	派遣校数:88校 参加者数:6559人 延応募校数:490校 協力チーム数:13チーム (年度末までに変更の可能性あり)	—		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
A	② 出かける博物館事業(府立弥生文化博物館、府立近つ飛鳥博物館)	考古資料などを通して弥生～古墳時代を初めとした歴史への関心と学習意欲を高めるための各種学習支援プログラムを用意し、小・中・高校への出前授業を行う他、さまざまな施設や団体と協働でワークショップや講演会を行い、大阪の歴史と文化を身近に体感してもらう。	H29	小・中・高校への出前授業の実施、館外における講演会やワークショップを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 出前授業の実施 176回 館外における講演会やワークショップの実施 61回 	270,809	教育庁	教育庁 文化財保護課
			H30	前年度に引き続き、小・中・高校への出前授業の実施、館外における講演会やワークショップを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 出前授業の実施 196回 館外における講演会やワークショップの実施 71回 	270,809		
			R元	前年度に引き続き、小・中・高校への出前授業の実施、館外における講演会やワークショップを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 出前授業の実施 82回 館外における講演会やワークショップの実施 70回 ※11月末時点	273,317		
A	② 学校支援人材バンク	地域や社会などで活躍する優れた技能や専門的な知識を有する人を「学校支援人材バンク」に登録し、指導者として学校教育に広く協力いただくなど、活用を図る。	H29	社会人として有為な人材を特別非常勤講師として任用する。また、学校支援のボランティアとして、文化部活動の技術指導者等として活用する。 ①特別非常勤講師の配当 ②学校支援社会人等指導者の配当(文化部/福祉/帰国・渡日生支援)	①特別非常勤講師配当時間 21239h ②社会人配当回数 3502回	110,806	教育庁	教育庁 高等学校課
			H30	社会人として有為な人材を特別非常勤講師として任用する。また、学校支援のボランティアとして、文化部活動の技術指導者等として活用する。 ①特別非常勤講師の配当 ②学校支援社会人等指導者の配当(文化部/福祉/帰国・渡日生支援)	①特別非常勤講師配当時間 20373h ②社会人配当回数 3498回	111,455		
			R元	社会人として有為な人材を特別非常勤講師として任用する。また、学校支援のボランティアとして、文化部活動の技術指導者等として活用する。 ①特別非常勤講師の配当 ②学校支援社会人等指導者の配当(文化部/福祉/帰国・渡日生支援)	①特別非常勤講師配当時間 21258h ②社会人配当回数 3271回	111,274		
A	② 大型児童館ビッグバン事業	大阪府立大型児童館ビッグバンは、児童福祉法第40条に基づき、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的として設置された児童厚生施設で、大型児童館(A型)として、大阪府内にある市町村立等の児童館の指導及び連絡調整などの中枢的役割を果たしている。 大阪府における子どもの豊かな遊びと文化創造の拠点施設として、「子どもたちの遊びと文化の創造機能」、「地域の遊びを振興、支援する機能」、「子どもの健やかな成長を支える人材の育成機能」を担うことを目的としている。	H29	「子どもたちの遊びと文化の創造機能」、「地域の遊びを振興、支援する機能」、「子どもの健やかな成長を支える人材の育成機能」を目的とし、全館事業、移動ミュージアム事業、子育て支援事業等を実施。	<ul style="list-style-type: none"> 全館事業 2か月ごとにテーマを設定し企画展示等を実施 移動ミュージアム事業 地域の児童館等60か所へ出動し、遊びを提供 子育て支援事業 大学等から実習生も受入 3校、12名 児童厚生員研修の実施 662名参加 子育て支援講座 4回実施 	29,680	福祉部	子育て支援課
			H30	「子どもたちの遊びと文化の創造機能」、「地域の遊びを振興、支援する機能」、「子どもの健やかな成長を支える人材の育成機能」を目的とし、全館事業、移動ミュージアム事業、子育て支援事業等を実施。	<ul style="list-style-type: none"> 全館事業 2か月ごとにテーマを設定し企画展示等を実施 移動ミュージアム事業 地域の児童館等49か所へ出動し、遊びを提供 子育て支援事業 大学等から実習生も受入 4校、10名 児童厚生員研修の実施 589名参加 子育て支援講座 4回実施 	31,678		
			R元	「子どもたちの遊びと文化の創造機能」、「地域の遊びを振興、支援する機能」、「子どもの健やかな成長を支える人材の育成機能」を目的とし、全館事業、移動ミュージアム事業、子育て支援事業等を実施。	<ul style="list-style-type: none"> 全館事業 2か月ごとにテーマを設定し企画展示等を実施 移動ミュージアム事業 地域の児童館等60か所へ出動し、遊びを提供 子育て支援事業 大学等から実習生も受入 5校、14名 児童厚生員研修の実施 419名参加 子育て支援講座 3回実施 	33,921		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
A	② 「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール	『青少年に「夢」と「チャンス」を与え、将来の技術者の育成に寄与するとともに、永く府民に愛され親しまれる公共建築づくりを進めていく』ことを目的とし、小規模な公共建築物を題材に府内の高校生や専修学校生等からアイデアを募集し、グランプリに選定された作品の提案を活かして事業化を行う。	H29	第27回「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール <ul style="list-style-type: none"> 審査会(2/6 咲洲ホール) 入賞作品展示(2/22~3/27 大阪府咲洲庁舎(さきしまコスモタワー)、大阪府本館、ハグミュージアム) 表彰式、プレゼンテーション(3/28 大阪府公館) H28年度入賞作品展示 <ul style="list-style-type: none"> 「大阪府産業教育フェア(教育庁主催)」(7/23 咲洲庁舎) 「建設技術展 2017近畿」(10/25、26 マイドーム大阪) 「なにわ建築フェスタ」(11/11、12 堺市立東文化会館) 「公共建築月間」(11/14 大阪府立労働センター(IL・おおさか)) 	<ul style="list-style-type: none"> 応募校数 18校 応募作品数 340点 応募者数 368人 入選作品 10点 	59	住宅まちづくり部	公共建築室 計画課
			H30	第28回「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール <ul style="list-style-type: none"> 審査会(1/27) 入賞作品展示(2/13~3/26 大阪府咲洲庁舎(さきしまコスモタワー)、大阪府本館、ハグミュージアム) 表彰式、プレゼンテーション(3/27) H29年度入賞作品展 <ul style="list-style-type: none"> 中之島図書館(8/7~8/28) 「建設技術展 2018近畿」(10/24、25 マイドーム大阪) 「なにわ建築フェスタ」(12/1、2 堺市立東文化会館) 「公共建築月間」(11/6 国民會館武藤記念ホール) 	<ul style="list-style-type: none"> 応募校数 15校 応募作品数 273点 応募者数 295人 入選作品 10点 			
			R元	第29回「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール <ul style="list-style-type: none"> 審査会(2/8) 入賞作品展示(2/19~3/27 大阪府咲洲庁舎(さきしまコスモタワー)、大阪府本館、ハグミュージアム) 表彰式、プレゼンテーション(3/23) H30年度入賞作品展 <ul style="list-style-type: none"> 中之島図書館(8/2~8/26) 「建設技術展 2019近畿」(10/23、24 マイドーム大阪) 「公共建築月間」(11/22 大阪市歴史博物館) パナソニックセンター大阪(12/9~12/19) 「なにわ建築フェスタ」(12/21、22 寝屋川市アルカスホール) 	<ul style="list-style-type: none"> 応募校数 17校 応募作品数 249点 入選作品 10点 			
A	② 専門学科等支援事業(スーパーインストラクターの招へい)	夕陽丘高校(音楽に関する専門的知識と技術等)、東住吉高校(能、狂言、歌舞伎、文楽等我が国の伝統芸能の基礎に関することや、落語や漫才等を中心とした笑い及びエンターテイメント等)の教育活動に各界で活躍するアーティスト等を招聘する。	H29	夕陽丘高校(音楽科)においては、世界的ピアニストをはじめとした第一線の演奏家などによる公開レッスン等、東住吉高校(芸能文化科)においては、伝統文化の中から歌舞伎について、舞台設営をはじめ着付けや音楽の鑑賞など総合的な特別レッスンを行った。	<ul style="list-style-type: none"> 夕陽丘 12回 東住吉 1回 	1,805	教育庁	教育庁 高等学校課
			H30	夕陽丘高校(音楽科)においては、国内外で活躍しているピアニストなどによる特別レッスン等を行った。東住吉高校(芸能文化科)においては、伝統文化の中から文楽について、演目の背景などの理解など総合的な特別レッスンを行った。	<ul style="list-style-type: none"> 夕陽丘 15回 東住吉 1回 			
			R元	夕陽丘高校(音楽に関する専門的知識と技術等)、東住吉高校(能、狂言、歌舞伎、文楽等我が国の伝統芸能の基礎に関すること)の教育活動に各界で活躍するアーティスト等を招へいする予定。	<ul style="list-style-type: none"> 夕陽丘 9回 東住吉 1回 			
A	② 「大阪人権博物館」における資料収集と情報発信	人権に関する資料を収集保存、公開している大阪人権博物館が行う事業について、適宜、紹介するなど、人権思想の普及と、豊かな人権感覚を育む「人間教育」の推進、人間性豊かな文化の発展に貢献する。	H29	<ul style="list-style-type: none"> 「「夜間中学生」学ぶたびやくしく・学ぶたびたのしく」と題した特別展を実施 「いまこそ知りたい! 楽しく学ぼう日本国憲法展」などの企画展を3企画実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特別展 4,646人来館 企画展 12,460人来館 	0	教育庁	教育庁 地域教育振興課
			H30	<ul style="list-style-type: none"> 「絵図と被差別民ー都市大坂のコスモロジー」と題した特別展を実施 「「家族」のカタチ、「性」のアリカタ」と題した企画展を実施 「リパティおおさか展示ギャラリートーク」と題した講演会を実施 	—			
			R元	—	—			

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
A	② 日本民家集落博物館「昔の暮らし展示体験事業」	移築復元した江戸時代民家においてボランティアが中心となって、小学生を対象に祖父母の時代の季節ごとの暮らしや遊びの語り聞かせ、体験活動を実施する。	H29	小学校3年の「むかしの暮らし」・4年生社会科「暮らしの移り変わり」単元と連動し、民家や民具を活用して実施した。	5校 417名参加	7,304	教育庁	教育庁 文化財保護課
			H30	小学校3年の「むかしの暮らし」・4年生社会科「暮らしの移り変わり」単元と連動し、民家や民具を活用して実施する。	8校 450人	7,304		
			R元	小学校3年の「むかしの暮らし」・4年生社会科「暮らしの移り変わり」単元と連動し、民家や民具を活用して実施する。	8校 592人(予定数)(1月から開始)	7,304		
A	③ オーケストラハウス管理	オーケストラハウス(服部緑地内、日本センチュリー交響楽団に貸付)の修繕等	H29	照明などの管内設備、屋外に設置している室内空調の冷却塔の補修を実施。	・計画的に、適切な施設管理を行っている。	1,787	府民文化部	文化課
			H30	管内設備、屋外設備等の補修を実施。	・計画的に、適切な施設管理を行っている。	1,852		
			R元	引き続き、管理、修繕等を実施。	・計画的に、適切な施設管理を行っている。	12,567		
A	③ メセナ自動販売機の設置等(再掲)	広く府民の方から寄附を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つとして、自動販売機の売上げの一定割合を文化振興基金に寄附いただく「メセナ自動販売機」の設置を促進する。また、大阪府文化振興基金への寄附機能の付いた社会貢献型クレジットカード「OSAKAメセナカード」を発行する。	H29	平成29年度末に、咲洲庁舎と府庁別館内の次世代育成型メセナ自動販売機について期間終了となることから、事業者公募を実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・4事業者から応募があり、次世代育成型メセナ自動販売機を平成30年度も設置。 ・文化振興基金活用事業(芸術文化振興補助金事業、輝け!子どもパフォーマー事業、芸術文化顕彰事業、プラットフォーム形成支援事業の4事業)を継続。 	12,975 (基金設置運営費)	府民文化部	文化課
			H30	メセナ自動販売機設置等の内容を含んだパンフレットを作成し、飲料メーカー等に事業を周知することで設置台数の増加に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・メセナ自動販売機の新規設置(1台) ・府立上方演芸資料館内での次世代育成型メセナ自動販売機の新規設置(1台) ・基金パンフレット作成(4,000部) 	12,975 (基金設置運営費)		
			R元	引き続き、飲料メーカー等に事業を周知することで設置台数の増加に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・メセナ自動販売機の新規設置(9台) ・次世代育成型メセナ自動販売機の新規設置(2台) 	6,183 (基金設置運営費)		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
A	③ 文化財の保存・継承と親しむ機会の充実	文化財の種類や特性に応じて、計画的な修復、防災対策等その他の保存に必要な措置を講じ、文化財の適切な状態での保存・継承を図るとともに、文化財の定期公開や修理現場公開、学校連携の促進等、多様な公開・活用手法の実践により、府民が文化財に親しむ機会を充実させる。	H29	府指定文化財の保存、修復、管理等に必要な措置への補助金の交付。また、文化財の定期公開や発掘調査現場公開、学校連携の促進等、多様な公開・活用手法の実践により、府民が文化財に親しむ機会を充実させる取り組みもあわせて実施。	府指定文化財の保存等補助事業 15件 国指定文化財管理費の補助事業 58件 発掘調査現地説明会 2回 和泉池上収蔵庫公開 5回	11,125	教育庁	教育庁 文化財保護課
			H30	府指定文化財の保存、修復、管理等に必要な措置への補助金の交付。また、文化財の定期公開や発掘調査現場公開、学校連携の促進等、多様な公開・活用手法の実践により、府民が文化財に親しむ機会を充実させる取り組みもあわせて実施。	府指定文化財の保存等補助事業 24件 国指定文化財管理費の補助事業 59件 発掘調査現地説明会 4回 和泉池上収蔵庫公開 4回	11,214		
			R元	府指定文化財の保存、修復、管理等に必要な措置への補助金の交付。また、文化財の定期公開や発掘調査現場公開、学校連携の促進等、多様な公開・活用手法の実践により、府民が文化財に親しむ機会を充実させる取り組みもあわせて実施。	府指定文化財の保存等補助事業 15件 国指定文化財管理費の補助事業 59件 発掘調査現地説明会 2回 和泉池上収蔵庫公開 4回	12,385		
B	① 上方演芸資料館(ワッハ上方)の管理・運営事業	大阪固有の文化である上方演芸を後世に伝えていくため、資料の収集・整理・保存を行うとともに、資料の館内・館外展示や上方演芸の殿堂入り等を通じて、府民に上方演芸に親しむ場等を提供する。	H29	「大阪府上方演芸資料館資料活用検討委員会」を設置し、3年間(平成27~29年)で登録資料を整理。資料整理と平行して、館内・館外展示を実施。	・ワッハ上方来館者数 14,096名 ・満足度 90.4% ・登録資料の整理 100%終了 ・館外展示(府内3箇所で開催)	46,166	府民文化部	文化課
			H30	大阪人のアイデンティティの一つである「笑い」の魅力を、これまで以上に広く発信し、伝えていくため、現施設を改修し、府民はもとより、国内外の観光客にも演芸の素晴らしさを知っていただくとともに、多くの人が訪れる魅力的な施設となるよう事業を展開。	・ワッハ上方来館者数 7,567名 ※リニューアルのため、12月1日から休館 ・満足度 94.2% ・館外展示(府内2箇所で開催)	90,706		
			R元	国内外の観光客にも上方演芸の魅力をこれまで以上に広く発信し、伝えていく。リニューアル後の資料館では、上方演芸の歴史を知ることができる展示のほか、半年ごとにテーマを絞った展示や、ワークショップ等を開催する。	・ワッハ上方来館者数 28,869人 ※平成31年4月24日から令和元年12月末 ・満足度91.4パーセント ・展示事業(常設展示1回、企画展示2回、館外展示1回) ・ワークショップ36回 ・事業者連携イベント 6回	73,804		
B	① 大阪文化芸術フェス	大阪の都市魅力を創造するため、文化を核とした大阪の都市魅力を創造し、発信していく事業として実施。大阪が誇る上方伝統芸能、上方演芸をはじめ、優れた音楽、演劇、アート等多彩で豊かな文化の魅力を広く国内外に発信し、インバウンドも含めた多くの観光客を呼び込むことにより、国際エンターテインメント都市の実現と、大阪の都市格の向上をめざす。	H29	大阪府、大阪市、関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会、大阪観光局及び関西・大阪21世紀協会と「大阪文化フェスティバル実行委員会」を立ち上げるとともに、在阪放送局9社にも呼びかけて、オール大阪体制を構築。10月の1ヶ月間を大阪文化芸術フェス月間と位置づけ、府内全域で事業を展開。	・主催プログラム 14件 公演数22回 ・共催プログラム 8件 公演数28回 ・メディア掲載数 556件	160,405 (補正後) 80,405	府民文化部	文化課
			H30	大阪府、大阪市、経済界で設立した「大阪文化芸術フェス実行委員会」と、在阪放送局9社とも連携して、本事業を実施。(期間:平成30年9月29日(土)から11月4日(日)まで)	・主催プログラム 7件 公演数28回 ・共催プログラム 11件 公演数18回 ・メディア掲載数 823件	160,556 (補正後) 130,956		
			R元	大阪を象徴する「中之島・大阪城周辺エリア」、「万博記念公園」をメイン会場に、府内全域で様々なプログラムを集中的に実施(期間:令和元年9月16日(月・祝)から11月17日(日)まで)インバウンドにも楽しんでいただけるノンバーバルなプログラムも実施。	・主催プログラム 11件 公演数19回 ・共催プログラム 13件 公演数65回 ・メディア掲載数 798件	240,756 (補正後) 193,451		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
B	① 芸術文化顕彰事業	大阪の文化・芸術に多大な貢献のあった方の顕彰等により、大阪の文化振興の機運醸成や都市魅力のアピールを行う。(大阪文化賞、大阪文化祭賞、山片蟠桃賞)	H29	大阪の芸術文化に貢献のあった方々の栄誉をたたえ、文化振興の機運を醸成するとともに、芸術文化活動の奨励及び普及を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 大阪文化賞 受賞者：井上道義 大阪文化祭賞 受賞者：TTR能プロジェクト 七代目笑福亭松喬 井上道義指揮大阪フィルハーモニー交響楽団 	2,186	府民文化部	文化課
			H30	同上	<ul style="list-style-type: none"> 大阪文化賞 受賞者：朝井まかて 大阪文化祭賞 受賞者：坂東竹三郎 六代目笑福亭松鶴生誕百年祭実行委員会 尾高忠明指揮大阪フィルハーモニー交響楽団 大阪文化祭奨励賞 受賞者：浦田保親、水野箏曲学院 人形劇団クラルテ、 空晴(からっばれ) 日本センチュリー交響楽団、 DANCE PROJECT 218. (ダンスプロジェクトニイヤ) 山片蟠桃賞 受賞者：ハルオ・シラネ 	3,018		
			R元	同上	<ul style="list-style-type: none"> 大阪文化賞 受賞者：豊島将之 大阪文化祭賞 受賞者：審査中 大阪文化祭奨励賞 受賞者：審査中 山片蟠桃賞贈呈式・記念講演会 受賞者：ハルオ・シラネ 参加者：159人 	4,278		
B	① 大阪文化再発見事業	「大阪文化」の豊かさを再認識するため、市町村、大学及び研究機関等と連携し、「おおさかふみんネット」や「阪神奈大学・研究機関生涯学習ネット」を立ち上げ、府民向けの共催講座を実施する。	H29	阪神奈公開講座フェスタ 参加者募集：8月25日(火)～10月23日(月) 講座(19講座)：11月1日(水)～14日(火) おおさかふみんネット 参加者募集：9月～1月(各ブロック) 講座(17講座)：10月中旬～2月	<ul style="list-style-type: none"> 阪神奈公開講座フェスタ 講座数：19講座、参加者：1,121人 ふみんネット 講座数：6ブロック17講座、 参加者：999人 	—	府民文化部	文化課
			H30	阪神奈公開講座フェスタ 参加者募集：8月24日(金)～10月23日(火) 講座(20講座)：11月1日(木)～14日(水) おおさかふみんネット 参加者募集：9月～1月(各ブロック) 講座(約13講座)：10月中旬～2月	<ul style="list-style-type: none"> 阪神奈公開講座フェスタ 講座数：20講座、参加者：延べ949人 ふみんネット 講座数：4ブロック約13講座、 参加者：1000人 	—		
			R元	阪神奈公開講座フェスタ 講座数：18講座 【主な講座】・特別講演 ・各大学、研究機関による講座など おおさかふみんネット 講座数：14講座	<ul style="list-style-type: none"> 阪神奈公開講座フェスタ 講座数：18講座、参加者：延べ771人 ふみんネット 講座数：5ブロック10講座実施済 4講座実施予定(2/10現在) 	—		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
B	① 文楽伝承事業	大阪が世界に誇る伝統芸能である「人形浄瑠璃文楽」の保存継承事業を行う(公財)文楽協会に補助を行い、技芸の伝承とともに鑑賞機会の充実等を図る。	H29	・文楽に触れる機会を提供するとともに、若手技芸員の研鑽による成果を発表する研修発表会事業を補助した。 ・技芸員が支出する、公演又は研修に必要な経費に対する活動費を補助した。	・研修発表会事業として文楽ミニ公演を7公演実施 ・技芸員82名に対し活動費補助を実施	19,667	教育庁	教育庁 文化財保護課
			H30	・文楽に触れる機会を提供するとともに、若手技芸員の研鑽による成果を発表する研修発表会事業を補助する。 ・技芸員が支出する、公演又は研修に必要な経費に対する活動費を補助する。	・研修発表会事業として文楽ミニ公演を7公演実施 ・技芸員85名に対し活動費補助を実施	19,667		
			R元	・文楽に触れる機会を提供するとともに、若手技芸員の研鑽による成果を発表する研修発表会事業を補助する。 ・技芸員が支出する、公演又は研修に必要な経費に対する活動費を補助する。	・研修発表会事業として文楽ミニ公演を7公演実施 ・技芸員84名に対し活動費補助を実施	19,667		
B	② アートスポット魅力創出発信事業	公共の空間や施設内において、都市魅力を向上させ、観光集客につながるようなアート作品を設置することにより、大阪に新たな名所(アートスポット)を創出する。	H29	事業計画をとりまとめるにあたり、基礎となるデータの収集・分析、企画提案において民間事業者等の知識やノウハウ等を活用し、より効果的・効率的に実施するため、企画提案公募により事業者の公募、選定を行った。	専門家による懇話会を設け、事業コンセプト、事業内容、手法について意見交換等を行い、事業者の調査結果等をふまえ、事業計画をとりまとめた。	5,000	府民文化部	文化課
			H30	万博記念公園を舞台に都市魅力に寄与するアートスポットを設置することを昨年度にとりまとめた事業計画書に基づき、テーマやコンセプトを定め、作家と作品プランを決定する。	万博記念公園を、2025年大阪・関西万博の関連会場として活用する方針が示され、その動向等も視野に入れる必要が生じたため、改めて今後の対応を検討。	—		
			R元	万博記念公園以外も含めた府域における作品設置の適地検討、作品コンセプトを固め、専門家等からの意見聴取等の作業を進めていく予定。	大阪府20世紀美術コレクションの活用も含め、アートスポットの今後の事業展開について検討を進めた。	—		
B	② なにわ伝統野菜の振興	古くから大阪の食文化を支えてきた「なにわの伝統野菜」の発掘と復活に取り組む。また、「なにわの伝統野菜認証制度」を活用し、「なにわの伝統野菜」の生産振興と消費拡大を図る。	H29	「なにわの伝統野菜認証制度」により、生産者及び加工業者等の認証を行った。 新規認証した「難波葱」について、官民連携によるPRイベント「難波葱フェスタ」を開催した。 ホームページを活用し、府内における「なにわの伝統野菜」の販売やイベント情報等についてPRした。	・H29年度認証件数 33件(新規・更新含む) ・イベント参加団体 76団体 イベント参加府民 約8,000人 ・ホームページ掲載情報数(販売・イベント) 24件	—	環境農林水産部	環境農林水産部 農政室
			H30	「なにわの伝統野菜認証制度」により、生産者及び加工業者等の認証を行う。「難波葱フェスタ」等のPRイベントを開催した。 ホームページを活用し、府内における「なにわの伝統野菜」に係わるイベント情報等についてPRした。	・H30年度認証件数見込み 20件(新規・更新含む) ・イベント参加団体 126団体 イベント参加府民 約20,000人 ・ホームページ掲載情報数(販売・イベント) 13件	—		
			R元	「なにわの伝統野菜認証制度」により、生産者及び加工業者等の認証を行う。「難波葱フェスタ」等のPRイベントを開催する。 ホームページを活用し、府内における「なにわの伝統野菜」に係わるイベント情報等についてPRする。	・R元年度認証件数見込み 28件(新規・更新含む) ・イベント参加団体 113団体 イベント参加府民 約20,000人 ・ホームページ掲載情報数(販売・イベント) 1件	—		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
B ②	「大阪産(もん)・大阪産(もん)名品」のプロモーション	大阪で採れた農林水産物やその加工品を大阪産(もん)として、PRするとともに、50年以上の伝統などがあり、大阪府民に愛されてきた特産加工食品を大阪産(もん)名品として認証・PRすることで、大阪の魅力を全国や海外に発信する。	H29	大阪産(もん)フェイスブックでの情報発信、BtoBの展示商談会等への出展(海外、首都圏、大阪府内)、BtoCのイベントの開催(大阪府内)等により、大阪産(もん)・大阪産(もん)名品の認証を受けた商品・事業者の魅力を全国や海外に発信した。	大阪産(もん)ロゴマーク認証件数 811件 大阪産(もん)名品認証事業者数 133件 大阪産(もん)フェイスブック配信 158回 海外(香港フードエキスポ)出展数 5事業者 首都圏商談会大阪府ブース出展数 16事業者 府内商談会(大阪産(もん)大商談会)出展者数 49事業者 BtoCイベント(大阪産(もん)大集合)出展者数 40事業者	13,833	環境農林水産部	環境農林水産部 流通対策室
			H30	大阪産(もん)フェイスブックでの情報発信、BtoBの展示商談会等への出展(海外、首都圏、大阪府内)、BtoCのイベントの開催(大阪府内)等により、大阪産(もん)・大阪産(もん)名品の認証を受けた商品・事業者の魅力を全国や海外に発信する。	大阪産(もん)ロゴマーク認証件数 833件 (H30.12月末時点) 大阪産(もん)名品認証事業者数 145件 大阪産(もん)フェイスブック配信 207回 (H30.12月末時点) 海外(香港フードエキスポ)出展数 6事業者 首都圏商談会大阪府ブース出展数 13事業者 府内商談会大阪府ブース出展者数 31事業者 BtoCイベント(大阪産(もん)大集合)出展者数 42事業者	13,833		
			R元	大阪産(もん)フェイスブックでの情報発信、大阪産(もん)の海外展開等の販路開拓支援、G20大阪サミット開催で大阪を訪れる各国政府・報道関係者等に対する大阪産(もん)PR、BtoCのイベントの開催(大阪府内)等により、大阪産(もん)・大阪産(もん)名品の認証を受けた商品・事業者の魅力を全国や海外に発信する。	大阪産(もん)ロゴマーク認証件数 852件 (R1.12末時点) 大阪産(もん)名品認証事業者数 153件 大阪産(もん)フェイスブック配信 180回 (R1.12末時点) 海外(マレーシア)での現地商談会出展者数 10事業者 海外バイヤー招聘商談会出展者数 12事業者 (R1.12末時点) G20大阪サミットでの食材採用数 115品目 BtoCイベント(大阪産(もん)大集合)出展者数 22事業者	36,922		
B ②	大阪産(もん)魚介類の魅力発信	「魚庭(なにわ)の海づくり大会」などイベントを活用し、大阪漁業を発信するとともに「はま」と「まち」のふれあいの場を創出する。	H29	「魚庭(なにわ)の海づくり大会」の開催 学校給食会と連携した出前魚講習会の開催	・大会：台風のため中止(平成29年10月22日) ・魚講習会：7回開催	—	環境農林水産部	環境農林水産部 水産課
			H30	「魚庭(なにわ)の海づくり大会」の開催 学校給食会と連携した出前魚講習会の開催	・大会：1回開催(平成30年11月) ・魚講習会：8回開催	—		
			R元	「魚庭(なにわ)の海づくり大会」の開催 学校給食会と連携した出前魚講習会の開催	・大会：1回開催(令和元年11月) ・魚講習会：8回開催	—		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
B	② 「17食博覧会・大阪」活用事業	平成29年4月28日から5月7日に開催される2017食博覧会・大阪の場を活用し、大阪の食文化や食の魅力を全国や海外に発信する。	H29	大阪府ブースを設置して事業者の出展を支援。大阪産（もん）をはじめとして大阪の食文化や食の魅力を全国や海外に発信した	「2017食博覧会・大阪」の開催 ・開催期間：平成29年4月28日～5月7日（10日間） ・来場者数：約62万人 ・食品関係の府内18事業者が大阪の食文化や食の魅力を発信	500	環境農林水産部	環境農林水産部 流通対策室
			H30	—（4年に1回開催）		—		
			R元	—（4年に1回開催）		—		
B	② 統合型リゾートの大阪立地推進事業	IR整備法等、国の動向も踏まえながら、大阪・夢洲へのIR立地実現に向けた取組みを進めます。	H29	IR推進法の成立を受け、大阪へのIR立地を進めるため、「大阪IR基本構想（案）・中間骨子」の作成や、IR推進会議の運営、IRに関する府民理解の促進等を行う。	・IR推進会議を6回開催 ・「大阪IR基本構想（案）・中間骨子」を取りまとめ（平成29年8月） ・府民理解セミナーを10回開催 ・情報発信用の広報ツールとして、リーフレット等を作成	47,706	IR推進局	IR推進局
			H30	大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型IRの実現に向け、事業者公募や区域認定申請に向けた準備等を行うとともに、ギャンブル等依存症対策や治安・地域風俗環境対策などIR立地に伴う懸念事項の最小化及び地域の合意形成に向けた府民理解の促進等を図る。	・IR推進会議を3回開催 ・「大阪IR基本構想（案）」を取りまとめ（平成31年2月） ・IR整備法の内容や想定される国のスケジュール等を踏まえ、事業化への課題の検討・整理を行うなど、事業者公募等に向けた準備を実施 ・依存症予防等に関する高校生向け出前授業を実施（8校・約2,500名が参加） ・ギャンブル等依存症対策研究会を9回開催 ・セミナー等対象を明確にした情報発信を57回開催 ・情報発信用の広報ツールとして、動画やリーフレット等を作成	88,383		
			R元	大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型IRの実現に向け、IR整備法などを踏まえ、事業者公募や区域認定申請に向けた準備等を行うとともに、ギャンブル等依存症対策や治安・地域風俗環境対策などIR立地に伴う懸念事項の最小化及び地域の合意形成に向けた府民理解の促進等を図る。	・IR推進会議を1回開催 ・「大阪IR基本構想」を策定（令和元年12月） ・事業者公募（RFP）を開始（令和元年12月） ・依存症予防等に関する高校生向け出前授業を実施（8校・約2,900名が参加）※12月末時点のため年度末までに変更あり。残り2校実施予定。 ・ギャンブル等依存症対策研究会を4回開催（予定） ・セミナー等対象を明確にした情報発信を47回開催 ※12月末時点のため年度末までに変更あり ・情報発信用の広報ツールとして、動画やパンフレット等を作成	330,277		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
B	② 水と光とみどりのまちづくり推進事業	「水と光の首都大阪」の実現をめざし、水の回廊を船が行き交い、内外の人々が水辺に集い憩う水都大阪の修景づくり、水辺の魅力創出に取り組む。また、水都大阪ならではの魅力的な光の景観の創出に取り組む。	H29	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある舟運の創出に向け、民間のアイデアやノウハウを活用するため、「水都大阪舟運創造推進事業」の受託者を公募して実施。 水辺・水上を楽しめるイベントとして「水都大阪フェス2017」を実施。 北浜・中之島東部エリアでの水辺のにぎわい空間創出事業として、船寄施設及びアート空間整備工事を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力発信、ナイトクルーズ、にぎわい創出の3事業を採択して、舟運活性化に向けた取り組みを推進。 「水都大阪フェス2017（10月7～29日）」を開催、なかでも14、15日は、水上・水辺を楽しめるイベント、クルーズ等を中之島公園周辺で集中して開催。 船寄施設及びアート空間整備工事中。（H30年7月供用開始予定） 	199,432	府民文化部	魅力づくり推進課
			H30	<ul style="list-style-type: none"> 水辺・水上を楽しめるイベントとして「水都大阪フェス2018」を実施。 水の回廊のポテンシャルの強化に向け、舟運利用者の利便性の向上や、安全安心な舟運の仕組みづくりの調査を実施。 大阪城公園を訪れた観光客を取り込むため、大阪城港への公共船着場の整備に向けて、調査等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 「水都大阪フェス2018（10月20日・21日）」を開催。中之島公園芝生広場にブースやステージを設置し、音楽ライブなどを実施する「水都パーク」と、川沿いを船や遊歩道で巡るスタンブラー「水都クエスト」を実施。 舟運活性化に向け、クルーズの安心・安全運航等の実現可能性に向けた調査を実施。 大阪城港への公共船着場等の整備に向け、測量調査と基本設計を実施。 	75,465		
			R元	<ul style="list-style-type: none"> 水辺・水上関連イベントと連携した舟運創造・活性化推進事業を実施。 水辺・水上を楽しめるイベントとして「水都大阪フェス2019」を実施。 大阪城エリアでの公共船着場等の整備に向けた詳細設計及び整備工事を実施。 舟運活性化につなげるため、水の回廊内への係留施設の整備に向け、基本計画を策定。 喫水調整機能を付加したクルーズ船を建造等する事業者を支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 「水都大阪フェス2019」における5か所の船着場を船等で巡るスタンブラー「水都CRUISE」や水辺のにぎわいづくり等を通じて、水辺に親しみを持ってもらえる事業を実施。 「水都大阪フェス2019（9月20日～10月13日）」の開催について、APPワールドツアー-SUPオープンと連携しながら「水都CRUISE」や中之島公園芝生広場での体験型プログラム、ステージイベントを実施。 大阪城エリアでの公共船着場等の整備に向けた詳細設計を実施（整備工事については今年度中の契約予定）。 水の回廊内への係留施設の整備に向けた基本計画を策定。 喫水調整機能を付加した新船建造等に対する補助事業を実施。 	196,968		
B	② 大阪・光の饗宴の魅力向上	「御堂筋イルミネーション」と「OSAKA光のルネサンス」をコアプログラムとして、民間等の実施する光のプログラムと連携して、インパクトある様々な光空間を演出する「大阪・光の饗宴」を実施	H29	大阪・光の饗宴2017の実施（H29.11.12～H29.12.31） ※御堂筋イルミネーション2017（H29.11.12～H29.12.31）	<ul style="list-style-type: none"> 大阪・光の饗宴全体の来場者数 平成29年度：1,367万人 	248,578	府民文化部	魅力づくり推進課
			H30	大阪・光の饗宴2018の実施（H30.11.4～H31.1.31） ※御堂筋イルミネーション2018（H30.11.4～H30.12.31）	<ul style="list-style-type: none"> 大阪・光の饗宴全体の来場者数 平成30年度：1,709万人 	238,878		
			R元	大阪・光の饗宴2019の実施（R1.11.4～R2.1.31） ※御堂筋イルミネーション2019（R1.11.4～R1.12.31）	<ul style="list-style-type: none"> 大阪・光の饗宴全体の来場者数 平成31年度：開催期間終了後算出 	255,578		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
B	② ナイトカルチャー発掘・創出事業	大阪の夜を楽しむためのナイトカルチャーの創出・充実のため、夜間公演等を実施する事業者を支援する。	H29	・ナイトカルチャーの発掘・創出にかかる検討会を設置し、検討会の意見を踏まえ「大阪府ナイトカルチャー発掘・創出事業補助金交付要綱」を策定 ・検討会から意見聴取のうえ、補助事業を決定	7事業に対して補助金を交付	31,000	府民文化部	魅力づくり推進課
			H30	・ナイトカルチャーの発掘・創出にかかる検討会から意見聴取のうえ、補助事業を決定	10事業に対して補助金を交付	38,060		
			R元	・ナイトカルチャーの発掘・創出にかかる検討会から意見聴取のうえ、補助事業を決定	5事業に対して補助金を交付	63,149		
B	② 国内外からの誘客促進事業	大阪のメインストリートである御堂筋を集客装置として活用して、非日常的なオンリーワンコンテンツを通じて大阪の魅力を国内外に発信し、多くの方に大阪を訪問していただくための起爆剤となるイベントを実施。	H29	御堂筋オータムパーティー2017の実施：H29年11月12日（日）	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 88回 ・WEB掲載回数 560回	60,000	府民文化部	魅力づくり推進課
			H30	御堂筋オータムパーティー2018の実施：H30年11月4日（日）	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 84回 ・WEB掲載回数 824回	60,000		
			R元	御堂筋オータムパーティー2019の実施：R1年11月4日（月・振替休日）	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 42回 ・WEB掲載回数 169回 （R1年12月2日現在）	90,000		
B	② 御堂筋開放事業	大阪のメインストリートである御堂筋を集客装置として活用して、非日常的なオンリーワンコンテンツを通じて大阪の魅力を国内外に発信し、多くの方に大阪を訪問していただくための起爆剤となるイベントを実施。	H29	御堂筋オータムパーティー2017の実施：H29年11月12日（日）	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 88回 ・WEB掲載回数 560回	18,000	府民文化部	魅力づくり推進課
			H30	御堂筋オータムパーティー2018の実施：H30年11月4日（日）	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 84回 ・WEB掲載回数 824回	18,000		
			R元	御堂筋オータムパーティー2019の実施：R1年11月4日（月・振替休日）	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 42回 ・WEB掲載回数 169回 （R1年12月2日現在）	18,000		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
B	② 「大阪国際平和センター」における資料収集と情報発信	戦争や平和に関する資料の収集・保存・展示や講演会等の開催を行う大阪国際平和センターに補助を行い、府民の平和意識の醸成を図る	H29	<ul style="list-style-type: none"> 大阪空襲犠牲者を追悼し、平和を祈念する 戦争や平和に関する常設展示に加え、特別展示、企画事業、出かける展示、貸出資料等を実施し、「大阪国際平和センター」の利用促進を図る。 	平成29年度実績 ・平和祈念事業の実施 ・入館者数：68,586人 ・特別展示：3回 ・企画事業：8回 ・出かける展示：16回 ・貸出資料利用人数：140,616人	84,307	府民文化部	人権局
			H30	<ul style="list-style-type: none"> 大阪空襲犠牲者を追悼し、平和を祈念する 戦争や平和に関する常設展示に加え、特別展示、企画事業、出かける展示、貸出資料等を実施し、「大阪国際平和センター」の利用促進を図る。 	平成30年度実績 ・平和祈念事業の実施 ・入館者数：69,539人 ・特別展示：5回 ・企画事業：10回 ・出かける展示：12回 ・貸出資料利用人数：145,392人			
			R元	<ul style="list-style-type: none"> 大阪空襲犠牲者を追悼し、平和を祈念する 戦争や平和に関する常設展示に加え、特別展示、企画事業、出かける展示、貸出資料等を実施し、「大阪国際平和センター」の利用促進を図る。 	令和元年度実績 ・平和祈念事業の実施 ・入館者数：58,822人(12月末時点) ・特別展示：5回(予定) ・企画事業：8回(予定) ・出かける展示：12回(予定) ・貸出資料利用人数：107,344人(12月末時点)			
B	② 「中之島図書館」における中之島エリアの文化ステーションとして文化事業の実施及び情報発信	中之島エリアの文化ステーションとして、中之島図書館の建物・収蔵資料及び中之島エリアの魅力を活かした文化事業を実施。中之島図書館及び中之島エリアの魅力についての情報発信を行う。	H29	<ul style="list-style-type: none"> 「大阪四花街展」(展示：大阪の4つの花街を紹介) 「人形絵本まんまるパン」(展示：絵本「まんまるパン」のジオラマ展示) 「建築家・安井武雄の想像力」(展示：船場、中之島周辺の近代建築の設計者である安井武雄を紹介) 「大阪学入門」(講座：大阪人、街、ことば、食文化などを紹介)他 	<ul style="list-style-type: none"> (4/3~4/28) 5,674人参加 (8/1~8/29) 5,203人参加 (12/1~12/26) 6,620人参加 (5/27、7/22、9/30、1/25、1/27、3/24) 420人参加 	75,375	教育庁	教育庁 中之島図書館
			H30	<ul style="list-style-type: none"> 「川口居留地今昔写真展」(展示：川口居留地の今昔を写真で紹介) 「大林芳五郎展」(展示：明治150年関連、近代大阪の都市建築の礎を築いた大林芳五郎を紹介) 「鉄道展」(展示：4月開業「大阪メトロ」関連で広く大阪の鉄道を紹介)他 	<ul style="list-style-type: none"> (4/2~4/27) 3,069人参加 (10/1~11/26) 11,028人参加 (12/3~12/22) 3,756人参加 			
			R元	<ul style="list-style-type: none"> 鳥瞰図 鳥の視線で見ると(大阪駅周辺の鳥瞰図を細密に描画した絵の展示) なにわ銭湯いろはカルタ展(銭湯をモチーフにした漫画絵と川柳とがカルタとして合体した絵の展示) 300分の1のたくらみ 景観模型の世界(世界各国の名所を精密測量されたデータを元に再現した模型の展示) 上方文化としての大阪花街『大阪の花街展』(浪花風俗絵の原画展示を目玉に大阪の花街、主に当時の南地の文化を考察) 細密切り絵で綴る『なにわ名所図会』展(大阪府知事賞、大阪市長賞、大阪観光局長賞、授賞作品をはじめ数々の細密切り絵作品の展示) 	<ul style="list-style-type: none"> 2019/ 4/8~ 5/ 5 3,590人参加 2019/ 6/4~ 6/29 2,766人参加 2019/ 8/5~ 8/31 4,986人参加 2019/11/5~11/30 5,127人参加 2019/11/5~12/ 6 3,169人参加 			

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
B	③ 「大阪ミュージアム」の推進	府内各地域には、歴史的なまちなみや豊かなみどり・自然、人々の暮らしに根ざした様々な文化資源がある。それらを発掘・再発見し、磨き・際立たせ、結びつけることによって、大阪のまちの魅力を国内外に発信する「大阪ミュージアム」の取組を推進する。	H29	<ul style="list-style-type: none"> 「恒常的なまちの魅力向上支援事業」により、地域団体における取組を支援 大阪ミュージアム登録物を活用して、地域魅力を府内外に発信するとともに、府域への集客・回遊を促す事業を展開する「地域魅力発信事業」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 計3団体に対し補助金を交付 大阪ミュージアム登録物を巡る冊子「大阪ミュージアム『とっておき』OSAKA周遊ガイド」を作成し、関西圏で約157万部配布するとともに、周遊ガイドに掲載したコースで集客イベントを実施し、805人を動員 	36,956	府民文化部	魅力づくり推進課
			H30	<ul style="list-style-type: none"> 「恒常的なまちの魅力向上支援事業」により、地域団体における取組を支援 大阪ミュージアム登録物を活用して、地域魅力を府内外に発信するとともに、府域への集客・回遊を促す事業を展開する「地域魅力発信事業」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 計2団体に対し補助金を交付 府域の地域魅力を、テーマごとに多言語で紹介する冊子「DISCOVER OSAKA」を作成し、国内外のイベントや主要ターミナル駅等で配布するとともに、Instagramを活用したキャンペーンを実施 	31,951		
			R元	<ul style="list-style-type: none"> 「恒常的なまちの魅力向上支援事業」により、地域団体における取組を支援 大阪ミュージアム登録物を活用して、地域魅力を府内外に発信 	<ul style="list-style-type: none"> 計2団体に対し補助金を交付 府域の地域魅力を、テーマごとに多言語で紹介する冊子「DISCOVER OSAKA」を包括連携協定企業であるイオンリテール㈱と連携し、リニューアルしたうえで引き続き情報発信 	25,958		
B	③ 大阪ストーリープロジェクト	大阪の魅力スポットやそれらを巡るルートを歴史や文化、地域性によってストーリー性をもたせて再編集し、地域における観光資源の磨き上げ・情報発信等の取組を支援する。	H29	<ul style="list-style-type: none"> 「大阪ストーリープロジェクト事業補助金」を創設 専門的な知見を有するアドバイザーから意見聴取のうえ、補助事業を決定 	7事業に対して補助金を交付	45,432	府民文化部	魅力づくり推進課
			H30	<ul style="list-style-type: none"> 大阪ストーリープロジェクトワーキンググループに参画するアドバイザーから意見聴取のうえ、補助事業を決定 	6事業に対して補助金を交付	44,926		
			R元	<ul style="list-style-type: none"> 大阪ストーリープロジェクトワーキンググループに参画するアドバイザーから意見聴取のうえ、補助事業を決定 	2事業に対して補助金交付を決定	42,634		
B	③ 大阪周遊促進	大阪の多様な魅力を発信するとともに、周遊できる仕掛けづくりを行うことにより、インバウンドを含めた来阪旅行者の府内における周遊性の向上を図る。	R元	<ul style="list-style-type: none"> 「百舌鳥・古市古墳群」をめぐる周遊ルートの策定 来訪者の移動手段の整備に向けたモデル事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な周遊ルート（8ルート）を策定し、周遊ルートの魅力を紹介するガイドブックを5言語で作成（9月） 作成したガイドブックを大阪府内の観光案内所やホテル、主要駅等で配布（日本語版：9月末配布、多言語版：10月末配布） 百舌鳥・古市両エリアを結ぶ定期バスを8月22日から運行 	35,738	府民文化部	魅力づくり推進課

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
B	③ 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進事業	大阪が世界に誇る貴重な歴史遺産である百舌鳥・古市古墳群を人類の宝として確実に未来に継承し守るとともに、歴史と文化を活かしたまちづくりを推進するため、世界文化遺産登録に向けた取組みを進める。	H29	H31年度の世界文化遺産登録に向け、堺市、羽曳野市、藤井寺市とともに取組みを進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年7月 国の文化審議会世界文化遺産部会において、29年度の世界文化遺産推薦候補に決定 ・H30年1月 ユネスコに推薦書を提出 	20,148	府民文化部	魅力づくり推進課
			H30	H31年度の世界文化遺産登録に向け、イコモスによる現地調査などの審査に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年9月 イコモスによる現地調査に対応 	24,582		
			R元	世界遺産 百舌鳥・古市古墳群を次世代に引き継いでいくため、世界遺産としての価値や魅力の発信、資産の保存管理に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年7月、アゼルバイジャンで開催された第43回世界遺産委員会において世界遺産に登録 	23,613		
B	③ 太陽の塔内部再生事業	1970年大阪万博のシンボルであり、今日においても人々を魅了する万博記念公園の「太陽の塔」について、耐震改修や内部展示の再生・公開に向けた取組みを進め、文化的価値を向上させる。	H29	<ul style="list-style-type: none"> ①耐震改修工事 塔本体の耐震補修工事、エスカレーターの撤去及び階段・エレベーターの整備等 ②内部展示製作委託 「生命の樹」の展示物(183体)の復元及び「地底の太陽」の復元等 ③寄附金募集 ふるさと納税制度を活用し、寄附金募集 	<ul style="list-style-type: none"> ①耐震改修工事 平成28年10月～平成30年2月28日 実績：1,353,054千円 ②内部展示製作委託 平成28年10月～平成30年3月12日 実績230,067千円 ③寄附金募集(平成28年10月29日～平成30年1月31日) 寄附金額：157,387,698円 <p>平成30年3月18日 内部公開記念イベント 平成30年3月19日～ 一般公開</p>	1,534,522	府民文化部	府民文化総務課 万博公園事務所
			H30	—	—	—		
			R元	—	—	—		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
C	① 江之子島文化芸術創造センター管理運営事業	文化芸術の振興を図り、大阪の都市の魅力の向上に資するため、絵画等の収蔵作品の管理活用、交流・活動場所の提供、アートやデザインを活用した社会課題の発見、解決等、創造的な活動機会の創出を支援するための協働の拠点づくり等を実施する。	H29	<p>① ネットワーク enocoが大阪の文化のハブとなり、クリエイティブプラットフォームによるヒトと情報のネットワークを構築して大阪の文化関係機関等と府民をつなぐ役割を果たし、多様な個人や組織が総合的な活動に参加する機会を創出する。</p> <p>② 教育 より多様で多くの人々にenocoを活用していただくために、様々な学習の機会を提供するとともに、その成果を発揮する機会の提供に努める。</p> <p>③ プラットフォーム アートやデザインを通じた社会や地域の課題解決に貢献することで、他のアート施設との差別化を図る。特に江之子島まちづくり事業や西区との連携を高め、地域の人々やクリエイターとの協働に関するスキルやノウハウを蓄積して、幅広い地域への展開に活かす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 来館者数 延べ87,199人 企画展示 <ul style="list-style-type: none"> 須田剋太展（来館者数 547人/会期：H29.6.9～6.25） 20世紀の写真芸術展 ※大阪市共催（来館者数 1,174人/会期：H29.11.22～12.16） 浅野竹二展（来館者数 665人/会期：H30.1.12～1.28） eno so done！（自治体等からの個別相談）22件 文化芸術に関する活動を行った延団体等の数 649件 多目的ルーム1～4（展示室仕様）34.0%（H28年度：37.9%） 多目的ルーム5～12（会議室仕様）41.1%（H29年度：67.8%） 絵画等所蔵作品活用点数 1,101点（内、「大阪国際がんセンター」193点等）（H28年度：1,011点） 	64,001	府民文化部	文化課
			H30	<p>① ネットワーク enocoが大阪の文化関係機関等と府民をつなぎ、ヒトと情報のネットワークを構築することで、クリエイターや多様な個人・組織がenocoを舞台に交流、協働、創造的活動を行う拠点として機能させる。</p> <p>② 教育 文化芸術やまちづくりに関する教育機関としてのenocoの特徴をアピールし、特に子どもや親子層をターゲットとした、ものづくりやパフォーマンス等のワークショップや講座を年間通じて実施することで、館の魅力向上と利用促進につなげる。</p> <p>③ プラットフォーム プラットフォーム手法でアートやデザインを活かして地域や社会課題の解決に貢献することで、他の文化施設との差別化を図る。また、地域の企業やNPO、個人等が参画する「えのこクラブ」というプラットフォームを運営することで、互いの活動を支援、協働する関係性を構築、地域住民への周知やenocoの活動への参画拡大に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 来館者数 延べ100,082人 企画展示 <ul style="list-style-type: none"> 親子層を対象に、「おしゃべりOK」「クッションに座って鑑賞・模写OK」の「enocoおしゃべり美術館」など計3回開催（延べ来館者数 3,092人） 季節ごとにテーマを変え、多様な人々がenocoに来館するきっかけづくりを行う「えのこdeマルシェ」6月、8月、1月の計3回開催（延べ来場者数 8,774人） 府内の小・中・高・支援学校に出向き、出張展示と対話型鑑賞を行う「コレクションキャラバン」の実施(計5校) 子どもや大人、クリエイター、アーティスト向けの教育講座の開催 ニュースレターの発行(5月、9月、1月・各1万1千部発行) 絵画等所蔵作品活用点数 971点（内、「大阪国際がんセンター」176点等） 	62,809		
			R元	<ul style="list-style-type: none"> ○ 芸術文化活動の支援や助成を行う団体と連携し、トークイベントやフォーラムを開催 ○ 子どもや大人、クリエイター、アーティスト向けの教育講座の開催 ○ 企画展示の実施（予定） <ul style="list-style-type: none"> ・「enocoおしゃべり美術館」 ・アーティストやクリエイターと連携した展覧会 ・他美術館と連携した展覧会 ○ 地下フリースペースを活用したワークショップ等の開催 ○ 「えのこdeマルシェ」の開催 ○ 「コレクションキャラバン」の開催 など 	<p>【12月末時点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来館者数 延べ100,042人 大阪の芸術文化の支援や助成活動を行う3つの団体と連携し、情報や課題の共有を行う場「おおさかアート commons（仮称）ギャザリング」を3回実施。 クリエイターを育成する教育講座『enocoの学校』を7月から開講。（「続・enocoの学校」13回、「子どもアート学科」10回） 企画展示 <ul style="list-style-type: none"> 子どもも大人も楽しめる対話型の展覧会「enocoおしゃべり美術館」を開催（延べ来館者数1,292人） ※R2.1月にクリエイターと連携した「ココロラウツス」、R2.2月に須田剋太の作品展「須田剋太展 抽象 具象」を開催予定。 地下フリースペースにて、カフェとも連携し、対話型鑑賞会「enocoおしゃべりバー」を3回実施。 府民の来館促進、クリエイターとの交流の場の提供のため、「えのこdeマルシェ」を、2回実施。（延べ来館者数2,793人）※R2.1月に開催予定。 府内小中学校・支援学校への出張展示「コレクションキャラバン」を計5校実施。 	65,540		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
C	① プラットフォーム形成支援事業	アーティストやデザイナー、府民、NPO、大学、企業等の多様な立場の組織や人が集まってプラットフォームを形成し、対等な立場で交流・対話を行い、アートやデザイン（コミュニティデザイン含む）を手法として、共に課題の検討や事業を推進するための支援を行う。	H29	<ul style="list-style-type: none"> 府内部局連携 府内においてプラットフォーム手法の定着を図るため、部局が有する課題解決への取組みを支援 カンヴァススキームの市町村展開（わがまちカンヴァス事業） 市町村において、プラットフォーム手法の定着を図るため、府内市町村が有する地域課題解決への取組みを支援 プラットフォーム手法の広報、啓発 本事業の周知及び国内外の先進事例を紹介するためのフォーラムを開催。 	<ul style="list-style-type: none"> （継続案件） 住宅まちづくり部タウン推進局：阪南スカイタウンの遊休土地の活用 （新規案件） 豊能町：シティプロモーション 池田市：五月山エリアのにぎわいづくり 大東市：住道駅周辺の公共空間の活性化 吹田市：関西大学周辺のまちづくり 西淀川区：マップの活用方法 フォーラム 国内外の先進事例で話題を集める講師を招聘し、参加者と知見を共有するフォーラム H29のテーマ：“まちを再生する新たなシナリオづくり” 	10,256	府民文化部	文化課
			H30	<ul style="list-style-type: none"> カンヴァススキームの市町村展開（わがまちカンヴァス事業） 市町村において、プラットフォーム手法の定着を図るため、府内市町村が有する地域課題解決への取組みを支援 プラットフォーム手法の広報、啓発 本事業の周知及び国内外の先進事例を紹介するためのフォーラムを開催予定 プラットフォーム形成支援事業のノウハウ・手引き集の作成、配布 これまでに市町村と密接に関わりながら課題解決へと導いてきたプロセス、ステークホルダーの見つけ方や巻き込み方、プラットフォームの形成等、個々の課題に対する取組みの詳細を具体的に記載 	<ul style="list-style-type: none"> （新規案件） 生野区：多文化共生 泉南市：集会場の利活用 泉大津市：あしゆびプロジェクトの定着 岬町：まちの魅力の発掘・発信方法 フォーラム 国内外の先進事例で話題を集める講師を招聘し、参加者と知見を共有するフォーラム H30のテーマ：“クリエイティブ・プレスメイキング” 	10,090		
			R元	—	—	—		
C	① 音楽体験事業（再掲）	日本センチュリーが中心となって、子どもが楽器に触れるとともに、オーケストラの中で演奏を聴き、指揮をするなどオーケストラのあらゆる面を体験できるコンサート等を実施する。	H29	楽団の活動拠点であり、「タッチ・ジ・オーケストラ」の開催場所であるセンチュリーオーケストラハウスの維持管理を適宜行い、楽団の活動を支援していく。	<ul style="list-style-type: none"> タッチ・ジ・オーケストラ 18公演 参加者：2310名 夏休みファミリーコンサート 2公演 参加者1644名 支援学校コンサート 6公演 参加者：2539名 病院コンサート 5公演 参加者：535名 	—	府民文化部	文化課
			H30	楽団の活動拠点であるセンチュリーオーケストラハウスの維持管理を適宜行い、楽団の活動を支援していく。	<ul style="list-style-type: none"> タッチ・ジ・オーケストラ 16公演 参加者：1,955名 星空ファミリーコンサート 2公演 参加者：1,630名 支援学校コンサート 1公演 参加者：423名 支援学校アンサンブル 5公演 参加者：905名 病院コンサート 5公演 参加者：535名 	—		
			R元	同上	<ul style="list-style-type: none"> タッチ・ジ・オーケストラ 8公演 参加者：1,200名 星空ファミリーコンサート 1公演 参加者：690名 支援学校コンサート 1公演 参加者：1,200名 支援学校アンサンブル 5公演 参加者：600名 病院コンサート 3公演 参加者：300名 	—		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
C	② 江之子島文化芸術創造センター管理運営事業(再掲)	文化芸術の振興を図り、大阪の都市の魅力の向上に資するため、絵画等の収蔵作品の管理活用、交流・活動場所の提供、アートやデザインを活用した社会課題の発見、解決等、創造的な活動機会の創出を支援するための協働の拠点づくり等を実施する。	H29	<p>① ネットワーク enocoが大阪の文化のハブとなり、クリエイティブプラットフォームによるヒトと情報のネットワークを構築して大阪の文化関係機関等と府民をつなぐ役割を果たし、多様な個人や組織が総合的な活動に参加する機会を創出する。</p> <p>② 教育 より多様で多くの人々にenocoを活用していただくために、様々な学習の機会を提供するとともに、その成果を発揮する機会の提供に努める。</p> <p>③ プラットフォーム アートやデザインを通じた社会や地域の課題解決に貢献することで、他のアート施設との差別化を図る。特に江之子島まちづくり事業や西区との連携を高め、地域の人々やクリエイターとの協働に関するスキルやノウハウを蓄積して、幅広い地域への展開に活かす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 来館者数 延べ87,199人 企画展示 <ul style="list-style-type: none"> 須田剋太展(来館者数 547人/会期: H29.6.9~6.25) 20世紀の写真芸術展 ※大阪市共催(来館者数 1,174人/会期: H29.11.22~12.16) 浅野竹二展(来館者数 665人/会期: H30.1.12~1.28) eno so done! (自治体等からの個別相談) 22件 文化芸術に関する活動を行った延団体等の数 649件 多目的ルーム1~4(展示室仕様) 34.0%(H28年度: 37.9%) 多目的ルーム5~12(会議室仕様) 41.1%(H29年度: 67.8%) 絵画等所蔵作品活用点数 1,101点(内、「大阪国際がんセンター」193点等)(H28年度: 1,011点) 	64,001	府民文化部	文化課
			H30	<p>① ネットワーク enocoが大阪の文化関係機関等と府民をつなぎ、ヒトと情報のネットワークを構築することで、クリエイターや多様な個人・組織がenocoを舞台に交流、協働、創造的活動を行う拠点として機能させる。</p> <p>② 教育 文化芸術やまちづくりに関する教育機関としてのenocoの特徴をアピールし、特に子どもや親子層をターゲットとした、ものづくりやパフォーマンス等のワークショップや講座を年間通じて実施することで、館の魅力向上と利用促進につなげる。</p> <p>③ プラットフォーム プラットフォーム手法でアートやデザインを活かして地域や社会課題の解決に貢献することで、他の文化施設との差別化を図る。また、地域の企業やNPO、個人等が参画する「えのこクラブ」というプラットフォームを運営することで、互いの活動を支援、協働する関係性を構築、地域住民への周知やenocoの活動への参画拡大に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 来館者数 延べ100,082人 企画展示 <ul style="list-style-type: none"> 親子層を対象に、「おしゃべりOK」「クッションに座って鑑賞・模写OK」の「enocoおしゃべり美術館」など計3回開催(延べ来館者数 3,092人) 季節ごとにテーマを変え、多様な人々がenocoに来館するきっかけづくりを行う「えのこdeマルシェ」6月、8月、1月の計3回開催(延べ来場者数8,774人) 府内の小・中・高・支援学校に出向き、出張展示と対話型鑑賞を行う「コレクションキャラバン」の実施(計5校) 子どもや大人、クリエイター、アーティスト向けの教育講座の開催 ニュースレターの発行(5月、9月、1月・各1万1千部発行) 絵画等所蔵作品活用点数 971点(内、「大阪国際がんセンター」176点等) 	62,809		
			R元	<ul style="list-style-type: none"> 芸術文化活動の支援や助成を行う団体と連携し、トークイベントやフォーラムを開催 子どもや大人、クリエイター、アーティスト向けの教育講座の開催 企画展示の実施(予定) <ul style="list-style-type: none"> 「enocoおしゃべり美術館」 アーティストやクリエイターと連携した展覧会 他美術館と連携した展覧会 地下フリースペースを活用したワークショップ等の開催 「えのこdeマルシェ」の開催 「コレクションキャラバン」の開催 など 	<p>【12月末時点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来館者数 延べ100,042人 大阪の芸術文化の支援や助成活動を行う3つの団体と連携し、情報や課題の共有を行う場「おおさかアート commons(仮称)ギャザリング」を3回実施。 クリエイターを育成する教育講座『enocoの学校』を7月から開講。(「続・enocoの学校」13回、「子どもアート学科」10回) 企画展示 <ul style="list-style-type: none"> 子ども大人も楽しめる対話型の展覧会「enocoおしゃべり美術館」を開催(延べ来館者数1,292人) ※R2.1月にクリエイターと連携した「ココロラウツ」、R2.2月に須田剋太の作品展「須田剋太展 抽象 具象」を開催予定。 地下フリースペースにて、カフェとも連携し、対話型鑑賞会「enocoおしゃべりバーラー」を3回実施。 府民の来館促進、クリエイターとの交流の場の提供のため、「えのこdeマルシェ」を、2回実施。(延べ来館者数2,793人) ※R2.1月に開催予定。 府内小中学校・支援学校への出張展示「コレクションキャラバン」を計5校実施。 	65,540		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
C	③ ラグビーワールドカップ2019の大阪開催	ラグビーワールドカップ2019大会準備推進組織を設置し、大会運営に係る関係機関との協議・調整や大会に向けた機運醸成を図るための取組みを展開する。	H29	大会の認知度向上、大会に向けた機運の醸成を図るとともに、ラグビー・スポーツの街「大阪」を内外にアピールするため、広報・啓発事業を展開する。また、平成31年9月の大会に向けた準備を東大阪市と連携しながら進める。	<ul style="list-style-type: none"> ラグビートップリーグの試合会場等でのプロモーション活動の実施(27回) (その他の活動) <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ等その他イベントでのPRプロモーション活動(86件) ・デジタルサイネージによるRWC2019大会開催告知プロモーションの実施。(梅田、難波、天王寺、関西国際空港)(5月) ・ラグビーワールドカップ2019ウェブ・エリス・カップ特別展示イベントを開催。(10月) ・試合日程発表会パブリックビューイングの実施。(11月) ・大阪環状線運行車輛へのラッピング及び中吊り応援メッセージポスターの掲出。(11~12月) ファンゾーン運営計画、交通輸送基本計画の策定。平成30年度は、ファンゾーン運営計画、交通輸送実施計画の策定に向けた検討、関係先と調整する。 	450,656	府民文化部	スポーツ振興課
			H30	東大阪市花園ラグビー場をはじめ全国12会場で行われる本大会まであと1年半となり、大会成功に向け、プロモーション活動による一層の機運醸成及び認知度向上を図るとともに、スポーツの街「大阪」を内外にアピールするため、広報・啓発事業を展開する。また、本年10月に予定される花園ラグビー場でのテスト試合(日本代表戦)を通じて、大会運営の課題を検討し、本番に向けた準備を東大阪市と進めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ラグビートップリーグの試合会場等でのプロモーション活動の実施(20回) (その他の活動) <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ等その他イベントでのPRプロモーション活動(80件) ・大会開催500日前PRイベント、優勝トロフィーの展示をはじめとした大会告知PR活動 ・ラグビーワールドカップ2019開催都市特別サポーター(大阪・東大阪)の就任式を実施(9月) ・東大阪市花園ラグビー場改修後初めての試合となる日本代表戦に合わせ会場周辺でPRイベントを実施(10月) ・府内10か所にカウントダウンボードの設置(11月) ・主要ターミナル等における大会PR装飾の設置(3月) 	201,360		
			R元	ラグビーワールドカップ2019開催に向けた大会機運の醸成活動として、主要ターミナル駅や、空港等への広告掲出・装飾などを実施するとともに、大会と開催都市に触れる機会づくりのためのファンゾーン運営を中心に大会情報や開催都市情報などを発信する。また、大会運営活動として、仮設会場施設の設置を行うとともに、観客輸送や会場周辺の交通規制などの運用マニュアルを策定し、円滑かつ安全に大会運営を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビートップリーグの試合会場等でのプロモーション活動の実施(13回) (その他の活動) <ul style="list-style-type: none"> ・開幕100日前イベント&トロフィーツアー開催(6/15 会場:大阪天王寺公園エントランスエリア「てんしば」)⇒約3,000人入場、メディア露出新聞(9紙)、TV:5件、Web:157件 ・都市装飾の展開 <ul style="list-style-type: none"> 主要駅・空港での吊り下げバナー、壁面シート設置等 街灯バナー設置(御堂筋、花園中央公園等)(8/20~)、大型ラグビーボールオブジェ設置(大川「川の駅はちけんや」)(9/1~)、電車車両ラッピング(近鉄(9/1~)、JR西日本(9/8~))、TV特別番組放映(MBS)(9/15)、街頭ビジョン、映画館でのCM動画の放映(9/1~9/26)、テレビCMの放映(ytv)、ラジオCMの放送(FM802、FMCOCOLO)、近鉄主要駅での構内CM放送(9/1~) ・試合当日の会場周辺の交通規制やシャトルバスの運行等の情報発信及び的確なシャトルバス運行。(9/22、9/28、10/3、10/13) ・ファンゾーンにて大会情報や大阪の魅力等を発信。(9/20、9/21、9/22 会場:東大阪市花園中央公園野球場 9,818人入場)(9/21、9/22、9/28、10/3、10/5、10/13 会場:大阪天王寺公園エントランスエリア「てんしば」 28,883人入場) ・日本代表の初の決勝トーナメント進出を受け、準々決勝日本代表戦のパブリックビューイングを実施。(10/20 会場:東大阪市花園ラグビー場 12,000人入場) 	1,037,631		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
C	③ オリ・パラ等事前キャンプ誘致の推進	オリ・パラ等の事前キャンプを誘致するため、府内の優れた競技施設等を取りまとめた広報ツールにより、市町村が誘致意向を示す競技に係る団体や在関西総領事館等を対象に情報発信を行うことで、府内市町村の取組みを支援する。	H29	<ul style="list-style-type: none"> PRパンフレット「大阪スポーツキャンプガイド」を活用し、在関西総領事館、競技団体等に働きかけ 誘致希望のある市町村と総領事館との調整 	市町村の誘致活動の支援件数 29件 ・PRパンフレット「大阪スポーツキャンプガイド」を活用し、在関西総領事館、競技団体等に働きかけ(27件) ・誘致希望のある市町村と総領事館との調整(2件) 事前キャンプにかかるアメリカ水泳連盟の視察受入れ他(2件)	1,654	府民文化部	スポーツ振興課
			H30	<ul style="list-style-type: none"> PRパンフレット「大阪スポーツキャンプガイド」を活用し、在関西総領事館、競技団体等に働きかけ 誘致希望のある市町村と総領事館との調整 	市町村の誘致活動の支援件数 6件 ・PRパンフレット「大阪スポーツキャンプガイド」を活用し、働きかけ(3件) ※大使館アビールイベント等にて配布 ・誘致希望のある市町村に相手国を紹介(1件) ※守口市=キルギス共和国 ・事前キャンプ地視察調整(2件) ※高石市=アイルランド、ニュージーランド	200		
			R元	<ul style="list-style-type: none"> オリ・パラ等の事前キャンプを誘致するため、事前キャンプ等を既に誘致している府内ホストタウンの情報等を市町村に提供 	市町村の誘致活動の支援件数 5件 ・府内ホストタウン等の情報提供 事前キャンプ決定 2件 ・高石市/漕艇センター(スペインのボートチーム) ・茨木市/茨木高校(イタリアの男子水球チーム)	188		
C	③ 大阪マラソン開催事業	3万2千人のランナーが大阪のランドマークを駆け抜ける「大阪マラソン」を実施する。大阪マラソンは、ランナーだけでなく、府民をはじめ多くの方々にも楽しんでいただける大阪を挙げての「お祭り」。大阪の元気な姿や都市魅力を国内外に大きく発信する。	H29	第7回大阪マラソン開催(H29.11.26) ・スポーツが文化となることをめざす取組みとして、第7回大阪マラソンからポスター等に使用するメインビジュアル(作品の中心となるイメージ画像)を一般公募 ・世界各地から参加するランナーをおもてなしし、国際交流を楽しむことを目的として、「大阪マラソン SEASON TRIARU 2017 Happy Morning Run」を初開催 ・チャリティ事業の継続	出場者: 32,008人(国外4,160人) 沿道観衆: 1,300,000人 チャリティ募金額: 167,870,255円	90,000	府民文化部	スポーツ振興課
			H30	第8回大阪マラソン開催(H30.11.25) ・大阪マラソンに愛着を持ってもらうことへの取組みとして、初心者の女性をサポートするために、女性向け練習会を初開催 ・世界各地から参加するランナーをおもてなしし、国際交流を楽しむことを目的として、「大阪マラソン SEASON TRIARU 2018 Happy Morning Run」を開催 ・チャリティ事業の継続	出場者: 32,263人(国外4,664人) 沿道観衆: 1,300,000人 チャリティ募金額: 198,373,437円	115,000		
			R元	第9回大阪マラソン開催(R元.12.1) ・今大会から、新たな大阪の名所(ランドマーク)を臨むことができるようコースを変更し、大阪城公園をフィニッシュ地点とした。 ・色々なレベルに対応した「なないろ練習会」を実施	出場者: 32,989人(国外4,999人) 沿道観衆: 1,330,000人 (チャリティ募金額はまだ未確定です。)	90,000		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
C	③ プロスポーツチームとの連携事業	スポーツを都市魅力の重要なコンテンツと位置づけ、大阪にゆかりのある全国で活躍する野球やサッカー等のプロチームと連携して、スタジアム等で都市魅力の発信、観光振興につなげるための取組みを進める。	H29	オリックス・バファローズ、阪神タイガース、セレッソ大阪、ガンバ大阪、大阪エヴェッサと連携し、公式戦において体力測定会等を実施したほか、スポーツを大阪の都市魅力としてPR	プロスポーツチームと連携したイベント実施回数(延べ9回)	—	府民文化部	スポーツ振興課
			H30	オリックス・バファローズ、阪神タイガース、セレッソ大阪、ガンバ大阪等と連携し、公式戦において体力測定会等を実施したほか、大阪の都市魅力としてPR	プロスポーツチームと連携したイベント実施回数(延べ12回)	—		
			R元	オリックス・バファローズ、阪神タイガース、セレッソ大阪、ガンバ大阪等と連携し、公式戦において体力測定会等を実施したほか、大阪の都市魅力としてPR	プロスポーツチームと連携したイベント実施回数(延べ10回)	—		
C	③ スポーツ情報ネットワークシステム推進事業	府民のスポーツ活動を推進するため、府内のスポーツイベント情報、スポーツ施設情報など、府内のスポーツに関する様々な情報を一元的に提供する。	H29	企画提案により、事業者を公募し、以下の業務を実施。 (1)大阪府スポーツ情報ネットワークシステム「なみはやスポーツネット」企画提案により事業者を公募し、府内のスポーツイベント情報、スポーツ施設の情報、ボランティア情報等を発信。 (2)なみはやスポーツネットメールマガジン「スポーツ情報通信」府スポーツ施策、大阪マラソン等、スポーツ関連イベント情報を毎月1回、年間を通して計12回配信 (3)大阪スポーツキャンプガイド(平成28年度開設)2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、事前キャンプ地として活用可能な施設等の情報に特化したページを運用	「なみはやスポーツネット」アクセス件数 254,885件 「スポーツ情報通信」配信件数：556件 ※平成19年度からの累計	2,358	府民文化部	スポーツ振興課
			H30	府民がより利用しやすいポータルサイトとして、内容の充実に取り組む。「大阪スポーツキャンプガイド」は2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、別途作成したパンフレットと併せて、事前キャンプ誘致に向けて、国内外に発信していく。	「なみはやスポーツネット」アクセス件数303,949件 「スポーツ情報通信」配信件数：554件(平成31年2月末実施)	2,358		
			R元	引き続き、府民がより利用しやすいポータルサイトとして、内容の充実に取り組む。	「なみはやスポーツネット」アクセス件数287,658件 「スポーツ情報通信」配信件数：583件(年度末までに変更の可能性あり)	2,401		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
C	③ 府民スポーツ・レクリエーション事業	<p>広く府民にスポーツ・レクリエーション活動を紹介し、実践する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起し、もって誰もが生涯を通じて、健康でゆとりや潤いを実感することができる豊かな社会を実現する。また、スポーツ実施率向上に向けた、スポーツ体験会や体力測定会を開催する等、府民がスポーツに取り組みきっかけを提供するとともに、府内小学生を対象に、大阪を拠点とするプロスポーツチームの選手・指導者によるスポーツ教室を開催する。</p>	H29	<p>(1)スポーツ・レクリエーション発表交流会 発表の場…(公財)大阪府レクリエーション協会加盟団体、その他参加希望団体による演技発表会と参加者全員による総おどり 交流の場…スポーツ・レクリエーション種目紹介、一般参加型体験コーナー (2)生涯現役スポーツ賞贈呈式 長年にわたり、スポーツ・レクリエーション活動に親しむとともに、その普及振興を図り、健康で豊かな生涯スポーツ社会づくりに功績のある個人又は団体に対し贈呈する。 (3)キッズスポーツ体験会 府内小学生を対象とした在阪のトップスポーツチームの選手・指導者によるスポーツ教室の開催 (4)スポーツ体験会 専門家の指導を受けながら、気軽に取り組める運動を体験 (5)体力測定会 通年で各種イベントやスポーツ観戦等の来場者を対象に体力テスト等を実施し、データに基づく運動指導を行う。 (6)スポーツ大会の共催及び後援 府内各スポーツ施設で開催されるスポーツ大会の共催・後援を行う。</p>	<p>(1)スポーツ・レクリエーション発表交流会 参加者：約6,700人 (2)生涯現役スポーツ賞贈呈式 受賞：金賞 17名、銀賞 47名、団体賞 9団体 (3)キッズスポーツ体験会 ＜屋外競技＞ 参加者：214名(当選者275人) 協力：ガンバ大阪、セレッソ大阪、オリックス・バファローズ、近鉄ライナーズ ＜屋外競技＞ 参加者：212名(当選者269人) 協力：堺ブレイザーズ、サントリーサンパース、パナソニックパンサーズ、大阪エヴェッサ、シュライカー大阪 (4)スポーツ体験会 参加者：約2,500人 (5)体力測定会 参加者：約2,000人 (6)スポーツ大会の共催及び後援 参加者：約40,000人</p>	6,618		
			H30	<p>(1)スポーツ・レクリエーション発表交流会 発表の場…(公財)大阪府レクリエーション協会加盟団体、その他参加希望団体による演技発表会と参加者全員による総おどり 交流の場…スポーツ・レクリエーション種目紹介、一般参加型体験コーナー (2)生涯現役スポーツ賞贈呈式 長年にわたり、スポーツ・レクリエーション活動に親しむとともに、その普及振興を図り、健康で豊かな生涯スポーツ社会づくりに功績のある個人又は団体に対し贈呈する。 (3)キッズスポーツ体験会 府内小学生を対象とした在阪のトップスポーツチームの選手・指導者によるスポーツ教室の開催。 (4)スポーツ体験会 専門家の指導を受けながら、気軽に取り組める運動を体験させる。 (5)体力測定会 通年で各種イベントやスポーツ観戦等の来場者を対象に体力テスト等を実施し、データに基づく運動指導を行う。 (6)スポーツ大会の共催及び後援 府内各スポーツ施設で開催されるスポーツ大会の共催・後援を行う。</p>	<p>(1)スポーツ・レクリエーション発表交流会 参加者：約6,200人 (2)生涯現役スポーツ賞贈呈式 受賞：金賞 20名、銀賞 51名、団体賞13団体 (3)キッズスポーツ体験会 ＜屋外競技＞ 参加者：207名 協力：ガンバ大阪、セレッソ大阪、オリックス・バファローズ、近鉄ライナーズ、NTTドコモレッドハリケーンズ ＜屋内競技＞ 参加者：170名 協力：堺ブレイザーズ、サントリーサンパース、パナソニックパンサーズ、大阪エヴェッサ、シュライカー大阪、日本生命レッドエルフ、日本ペイントマレッツ (4)スポーツ体験会 参加者：約200人 (5)体力測定会 参加者：約2,300人 (6)スポーツ大会の共催及び後援 参加者：約46,000人</p>	6,096	府民文化部	スポーツ振興課
			R元	<p>(1)スポーツ・レクリエーション発表交流会 発表の場…(公財)大阪府レクリエーション協会加盟団体、その他参加希望団体による演技発表会と参加者全員による総おどり 交流の場…スポーツ・レクリエーション種目紹介、一般参加型体験コーナー (2)生涯現役スポーツ賞贈呈式 長年にわたり、スポーツ・レクリエーション活動に親しむとともに、その普及振興を図り、健康で豊かな生涯スポーツ社会づくりに功績のある個人又は団体に対し贈呈する。 (3)キッズスポーツ体験会 府内小学生を対象とした在阪のトップスポーツチームの選手・指導者によるスポーツ教室の開催。 (4)スポーツ体験会 専門家の指導を受けながら、気軽に取り組める運動を体験させる。 (5)体力測定会 通年で各種イベントやスポーツ観戦等の来場者を対象に体力テスト等を実施し、データに基づく運動指導を行う。 (6)スポーツ大会の共催及び後援 府内各スポーツ施設で開催されるスポーツ大会の共催・後援を行う。</p>	<p>(1)スポーツ・レクリエーション発表交流会 参加者：約3,000人 (2)生涯現役スポーツ賞贈呈式 受賞：金賞 20名、銀賞 59名、団体賞13団体 (3)キッズスポーツ体験会 ＜屋外競技＞ 参加者：熱中症事故防止のために中止 協力：ガンバ大阪、セレッソ大阪、オリックス・バファローズ、近鉄ライナーズ、NTTドコモレッドハリケーンズ ＜屋内競技＞ 参加者：266名 協力：堺ブレイザーズ、サントリーサンパース、パナソニックパンサーズ、大阪エヴェッサ、シュライカー大阪、日本生命レッドエルフ、日本ペイントマレッツ (4)スポーツ体験会 参加者：約650人 (5)体力測定会 参加者：約2,700人 (6)スポーツ大会の共催及び後援 参加者：約46,000人</p>	6,016		

施策の方向性	施策・取組	概要	年度	具体的な取組	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
C	③ スポーツボランティア養成及び派遣事業	派遣要請のあったスポーツ大会へスポーツボランティアを派遣するとともに、スポーツボランティアの資質向上や人材育成を目的として、研修会等を実施する。	H29	スポーツボランティアの活動の場としては、府関係団体（大阪府視覚障害者福祉協会など）のスポーツイベントであったが、民間団体（スポーツイベント会社）からのオファーも増加し、幅広く活動している。ボランティアの資質向上を図ることを目的とし、研修会等を実施。	年間31事業にスポーツボランティア延べ約600人を派遣。 5月28日にドーンセンターにて大阪府スポーツボランティア研修として、ロコモ予防体操を実施。	685	府民文化部	スポーツ振興課
			H30	引き続き、府関連団体、民間団体のスポーツイベントへボランティアを派遣する。スポーツボランティア研修に大規模スポーツイベントの担当者を講師として招聘し、実施予定。	年間31事業にスポーツボランティア延べ約650人を派遣。 5月27日にドーンセンターにて大阪府スポーツボランティア研修として、東京2020オリンピック・パラリンピック組織委員会を招き、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティアについて」を実施。	645		
			R元	引き続き、府関連団体、民間団体のスポーツイベントへボランティアを派遣する。資質向上をめざした研修を実施するとともに、規約の見直しなど、現状に応じた企画運営を行う。	年間18事業にスポーツボランティア延べ約450人を派遣。 5月26日にドーンセンターにて大阪府スポーツボランティア研修として、いつまでも自分の脚でしっかりと歩くための「簡単筋力体操」を実施。 (年度末までに変更の可能性あり)	653		